

《企業紹介》

同社はベトナム最大の乳業製品のメーカーである。ベトナム全土に13の工場と13の乳業飼育用の牧場を展開しているほか、海外にも2つの生産拠点（北米とカンボジア）を保有し、牛乳、ヨーグルト、練乳、育児用ミルク、チーズなどの様々な乳製品を生産している。品質や製品価値において国内消費者の高い支持を得ており、ベトナム国内では「ビナミルク」として高いブランド力を誇っている。

《2024年4-6月期業績》

2024年4-6月期の売上高は前年同期比9.6%増の16.6兆VND（ベトナムドン）だった。低迷が続いたベトナム国内の日用消費財需要や乳製品需要に緩やかながら回復傾向がみられたこと、乳酸菌飲料のパッケージ刷新や新製品の投入が奏功したことなどが貢献し、国内売上高が同5.8%増の13.5兆VNDとなった。また、海外子会社の売上高が同21.8%増1.3兆VNDと伸びたことに加え、自由貿易協定を活用して輸出相手国を増やす努力や貿易相手国のニーズに対応した商品戦略が結実して輸出売上高が同37.0%増の1.7兆VNDとなり、海外売上高が同29.8%増の3.1兆VNDと大きく伸びた。

粗利益は同14.9%増の7.0兆VNDとなった。主要原材料の生乳価格の低下によって粗利益率が同2.0%ポイント上昇の42.4%に上昇したことが貢献している。営業利益は同19.8%増の3.3兆VNDと、2023年10-12月期以降3四半期連続での2桁増益となった。粗利益の増加に加え、販売費や一般管理費の増加が抑制され、金融費用の受取超過額が横ばいだったため、営業費用が同10.9%増の3.7兆VNDとどまったことも貢献している。税引前利益は同21.3%増の3.3兆VND、税引後利益は同21.5%増の2.6兆VNDとなった。

同社は2024年12月期計画において、売上高を前期比4.4%増の63兆1,630億VND、税引前利益を同5.0%増の11兆5,160億VNDと見込んでいる。2024年1-6月累計実績の進捗率は売上高が49%、税引前利益が52%となっている。ほぼ計画通りの進捗といえるだろう。ただし、1-3月期に比べて売上高の拡大ペース、粗利益率の水準上昇がみられるため、進捗が加速している可能性もありそうだ。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2023年4-6月期		2023年7-9月期		2023年10-12月期		2024年1-3月期		2024年4-6月期	
		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)		前年同期比(%)
売上高	15,194.8	1.8	15,637.0	-2.8	15,618.7	3.7	14,112.4	1.4	16,655.8	9.6
粗利益	6,150.2	1.2	6,554.9	3.2	6,441.6	10.2	5,911.5	9.5	7,067.5	14.9
(粗利益率、%、%ポイント)	40.5	-0.2	41.9	2.4	41.2	2.4	41.9	3.1	42.4	2.0
営業費用(金融収支を含む)	3,373.4	-2.9	3,468.6	0.2	3,715.8	2.7	3,196.0	3.7	3,741.7	10.9
金融費用(マイナスは受取超過)	-268.0	-	-373.7	-	-309.9	-	-284.9	-	-285.5	-
販売費	3,199.7	-3.5	3,382.5	3.7	3,493.7	4.8	3,095.3	5.2	3,574.9	11.7
一般管理費	430.5	14.2	432.2	7.8	504.1	12.3	395.9	1.8	455.7	5.9
営業利益	2,776.7	6.8	3,086.3	6.8	2,725.8	22.3	2,715.5	17.3	3,325.8	19.8
税引前利益	2,728.0	5.9	3,075.8	7.5	2,852.1	24.3	2,705.8	17.0	3,308.6	21.3
親会社株主帰属の税引後利益	2,198.8	5.6	2,492.3	8.4	2,326.0	24.4	2,194.7	18.2	2,670.5	21.5

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

有効期限作成日より180日

News20240805

主な事業 金融商品取引業

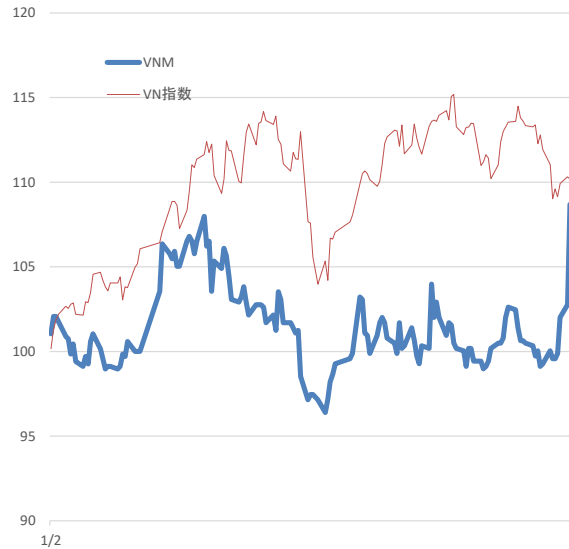
本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

《株価の推移》

同社の株価とVN指数の2023年終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は2024年の年初から一貫してVN指数をアンダーパフォーマンスしていたが、2024年4-6月期決算が明らかになると、急速にキャッチアップの動きをみせている。8月2日時点でVN指数は2023年末比9%の上昇となっているのに対し、同社も9%の上昇となっている。また、8月2日終値71,500VNDで計算した同社の時価総額は149.4兆VNDで、これは2023年12月期の税引後利益実績8.8兆VNDの17.0倍となっている。

株価パフォーマンスが急速に改善した要因は、2024年4-6月期決算が好感されたことだとみられる。ベトナムの2024年4-6月期GDP成長率は6.9%となるなど、国内景気が堅調となっており、これに伴って同社製品の需要も回復傾向が強まっている。また、海外売上高については、輸出相手国の増加が牽引役となっている点で、成長の持続性が期待できる。2024年4-6月期の売上高は四半期ベースで過去最高の水準となったが、国内の回復と輸出を中心とした海外売上高の拡大が両輪となって、同社の業績成長を牽引する期待が高まったことが株価パフォーマンスにインパクトをもたらしたといえそうだ。

図表2 株価推移



出所 Yahoo Honanceのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20240805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよく読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。